

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 平滑筋細胞の細胞骨格成分である smoothelin の子宮平滑筋腫瘍における核局在の意義の解明
＜研究機関・研究責任者名＞ （代表研究者）倉敷芸術科学大学 生命科学部生命医科学科 山田 清香 （日本大学医学部 研究責任者）日本大学医学部付属板橋病院 病理診断科・病理部 羽尾 裕之
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 13 （西暦 2031 年） 3 月 31 日
＜対象となる方＞ 2000 年 1 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までに日本大学板橋病院で、手術、生検及び病理解剖によって採取された組織で平滑筋腫瘍および悪性腫瘍と診断された方
＜研究の目的＞ 平滑筋細胞で発現する細胞骨格タンパク質である smoothelin は、通常は細胞質に限定して存在しています。興味深いことに、悪性平滑筋腫瘍においては、smoothelin の異常な核局在が観察されており、我々はこれまでも smoothelin の細胞内分布と細胞増殖の関係を調べてきました。しかし、まだ平滑筋腫瘍における smoothelin の核局在のメカニズムについては明確になっていません。 本研究では、日本大学医学部より提供された組織標本と培養細胞を用いて平滑筋腫瘍における smoothelin の動態を解明し、新たな分子標的治療の開発を目指すことを目的としています。
＜研究の方法＞ 手術や生検、病理解剖で摘出された組織を用いて、免疫組織化学染色という方法で smoothelin および DNA 修復に関連する RAD51、γH2AX などの発現を調べます。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 手術、生検及び病理解剖で摘出された病理組織、年齢、性別、既往歴、臨床診断、治療歴、予後
＜外部への試料・情報の提供の方法＞ 研究対象者の個人情報とは関係ない研究対象者コードのみを記載し、郵送にて提供する。
＜試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名＞ 試料・情報の提供を開始する予定日：機関の長の初回許可日 提供を行う機関：倉敷芸術科学大学 学長 秦 敬治
＜外国にある者に試料・情報を提供する場合＞ 該当なし
＜研究を実施する機関組織＞

倉敷芸術科学大学 生命科学部生命医科学科 講師 山田 清香
日本大学医学部附属板橋病院 病理診断科・病理部 主任教授 羽尾 裕之

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)
医学部 病態病理学系 人体病理学分野 氏名:羽尾 裕之
電話:03-3972-8111 内線:(医局)2252

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方